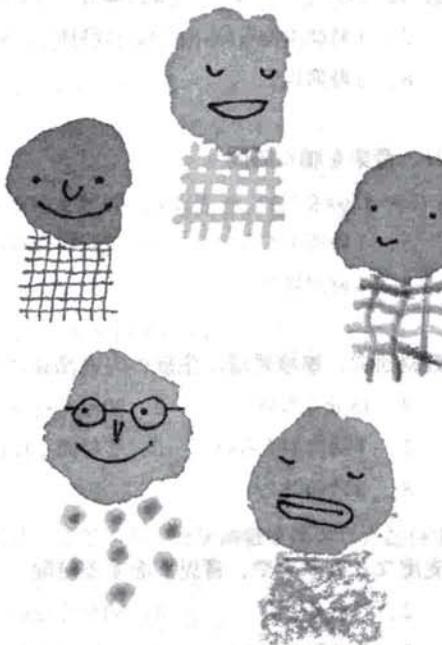


# 資料編

## 調査票見本 基礎集計票



○ 資料の整理用紙をめぐる「基礎集計票」を読み込みながら、実際の読み込みを試みよう。読み込みは、読み込み用紙と並んで、基礎集計票も複数枚用意する。読み込み用紙は、各欄に記入する項目を示す用紙で、基礎集計票の構造を示す。基礎集計票は、各欄に記入する項目を示す用紙で、読み込み用紙と並んで、複数枚用意する。

## ●資料1 調査票見本

### 中学校における学習指導についてのアンケートへの協力のお願い

Q1. あなたのふだんの生活についておたずねします。勤務のある平日の平均的な日を考えて、お答えください。

A. 学校には、始業時刻の何分前に着きますか。

- 1. 始業5分前
- 2. 15分前ころ
- 3. 30分前ころ
- 4. 1時間前ころ
- 5. それ以上前

B. 退勤時刻は、だいたい何時ころですか。

- 1. 5時以前
- 2. 5時ころ
- 3. 5時半ころ
- 4. 6時ころ
- 5. 6時半ころ
- 6. 7時ころ
- 7. 7時半ころ
- 8. 8時ころ
- 9. 8時半以降

C. 家で、新聞を読んだり、読書する時間

- 1. ほとんどしない
- 2. 15分くらい
- 3. 30分くらい
- 4. 1時間くらい
- 5. 1時間半くらい
- 6. 2時間くらい
- 7. 2時間半くらい
- 8. 3時間以上

D. 家で、テレビを見たり、音楽を聞く時間

- 1. ほとんどしない
- 2. 15分くらい
- 3. 30分くらい
- 4. 1時間くらい
- 5. 1時間半くらい
- 6. 2時間くらい
- 7. 2時間半くらい
- 8. 3時間以上

E. 家で、学校の仕事（教材研究、事務処理、生徒への連絡など）に費やす時間

- 1. ほとんどしない
- 2. 15分くらい
- 3. 30分くらい
- 4. 1時間くらい
- 5. 1時間半くらい
- 6. 2時間くらい
- 7. 2時間半くらい
- 8. 3時間以上

F. 家庭の仕事（食事の支度などの家事や、育児）をする時間

- 1. ほとんどしない
- 2. 15分くらい
- 3. 30分くらい
- 4. 1時間くらい
- 5. 1時間半くらい
- 6. 2時間くらい
- 7. 2時間半くらい
- 8. 3時間以上

G. 家での、睡眠の時間

- 1. 4時間以内
- 2. 5時間くらい
- 3. 6時間くらい
- 4. 7時間くらい
- 5. 8時間くらい
- 6. 9時間くらい
- 7. 10時間以上

H. 1週間のうち、部活動の指導をする日数（平均的な週についてお答えください）

- 1. 0日
- 2. 1日
- 3. 2日
- 4. 3日
- 5. 4日
- 6. 5日
- 7. 6日
- 8. 7日

Q2. 月2回の週5日制の導入に、貴校ではどのように対応なさいましたか。

A. 月2回の週5日制が実施されて以来、貴校では年間総授業時数を変えましたか。

- 1. 变えていない
- 2. 減らした
- 3. 年間総授業時数は変えずに、1校時を短縮した
- 4. その他（具体的に）

B. 特別活動や学校行事についてはどうですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 学校行事を削減・統合した
- 2. 学校行事の準備時間を削減したり、放課後に行った
- 3. 学校行事を各教科の活動と統合した
- 4. 家庭訪問をやめた・削減した
- 5. 道徳・学活の時間を削減した
- 6. 学期初めや学期末の時間を効率的に使うようにした（例：終業式の日に大掃除を行うなど）
- 7. 学校行事を夏休みなどの長期休暇中に移行した
- 8. 学校行事終了後に授業を行った
- 9. その他（具体的に）

C. 時間割上の工夫をなにかなさいましたか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 2週続きの時間割を作成した
- 2. 1校時の短縮をした
- 3. 学期初めや学期末の短縮授業日を削減した
- 4. 土曜日の授業を他の曜日に上乗せした
- 5. 学校行事の日に授業を行った
- 6. その他（具体的に）

D. 各教科の授業時数はどうですか。授業時数を削減した教科すべてに○をつけてください。

- 1. 国語
- 2. 社会
- 3. 数学
- 4. 理科
- 5. 外国語
- 6. 音楽
- 7. 美術
- 8. 保健体育
- 9. 技術・家庭

E. 各教科の授業時数を削減した学校に勤務なさっている方のみにうかがいます。貴校ではどのような方針で上記のような削減をなさったのでしょうか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1. 全教科からまんべんなく減らす方針だったから
- 2. 削減した教科には規定された時数に弾力性があったから
- 3. その他（具体的に）

F. 定期試験についてはどうですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 定期試験の回数を削減した (具体的に 回から 回へ)
2. 定期試験の日数を削減した
3. 定期試験の日に授業を行った
4. その他 (具体的に )

Q 3. 学校5日制が将来的に完全実施になった場合、現在より減らすことができると思うのは何ですか。A~Fのそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

A. 体育祭や文化祭

1. 減らしてもよい
2. 減らすのもいたしかたない
3. 減らせない

B. その他の学校行事

1. 減らしてもよい
2. 減らすのもいたしかたない
3. 減らせない

(減らせると思う行事があれば書いてください: )

C. 家庭訪問・保護者会・生徒との個人面談など

1. 減らしてもよい
2. 減らすのもいたしかたない
3. 減らせない

D. 学活や道徳など

1. 減らしてもよい
2. 減らすのもいたしかたない
3. 減らせない

E. 1校時あたりの時間

1. 減らしてもよい
2. 減らすのもいたしかたない
3. 減らせない

F. 教科の授業時数

1. 減らしてもよい
2. 減らすのもいたしかたない
3. 減らせない

(減らせると思う教科があれば書いてください: )

Q 4. ここ数年間の、あなたの授業の進め方や授業の内容についてうかがいます。

A. 数年前と比べて、あなたが担当している授業の進め方はどう変わってきていますか。

1) ~17) のそれについて当てはまる番号に○をつけてください。

多くなっている 変わらない 減っている

- 1) 復習や導入の時間 1 —— 2 —— 3
- 2) 教師からの解説の時間 1 —— 2 —— 3
- 3) 解説内容についての質疑応答の時間 1 —— 2 —— 3

多くなっている 変わらない 減っている

- 4) 机間巡回や生徒に個別に対応する時間 1 —— 2 —— 3
- 5) 練習や演習の時間 1 —— 2 —— 3
- 6) 生徒の発言や発表の時間 1 —— 2 —— 3
- 7) 教科書の内容をふくらませた説明 1 —— 2 —— 3
- 8) 問題集や副教材の使用 1 —— 2 —— 3
- 9) 入試によく出そうな点の解説や演習 1 —— 2 —— 3
- 10) 板書の量 1 —— 2 —— 3
- 11) 宿題の量 1 —— 2 —— 3
- 12) 余談をする時間 1 —— 2 —— 3
- 13) 教師主導の講義形式の授業 1 —— 2 —— 3
- 14) 調べ学習や表現を重視した授業 1 —— 2 —— 3
- 15) 生徒が自由に議論をする授業 1 —— 2 —— 3
- 16) 教科書にそった授業 1 —— 2 —— 3
- 17) 自作プリントを使った授業 1 —— 2 —— 3

B. 数年前と比べて、次のように感じることはありますか。

とても 感じる やや 感じる あまり 感じない 全く 感じない

- 1) 授業の進度が遅れるようになった 1 —— 2 —— 3 —— 4
- 2) 授業内容の密度が薄くなった 1 —— 2 —— 3 —— 4
- 3) 授業内容の定着度が低くなった 1 —— 2 —— 3 —— 4
- 4) 教科書が最後まで終わらないことが多くなった 1 —— 2 —— 3 —— 4

C. あなたは、授業が予定通り進まず、進度に遅れが出たとき、どのように対応していますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 授業内容を精選する
2. 生徒からの質疑応答や発言・発表を減らす
3. 練習問題などを宿題にまわす
4. 他教科の授業時間をもらう
5. 次年度にまわす
6. その他 (具体的に )

→ S Q. Cで、1に○をつけた方のみにうかがいます。どのように授業内容を精選していますか。

当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 高校入試の特徴とその内容をふまえてポイントを絞る
2. 応用問題などを削減する
3. 他の単元でカバーできるところを削減する
4. その他 (具体的に )

Q 5. 宿題や家庭学習についてうかがいます。

A. あなたはどのくらい宿題を出していますか。

- 1. 授業のたびに出す
- 2. 授業2、3回に1回くらい出す
- 3. 授業4、5回に1回くらい出す
- 4. 月に1回くらい出す
- 5. 宿題はほとんど出さない

以下のSQ1からSQ3は、Aで1から4に○をつけた方のみにうかがいます。  
それ以外の方は、Bに進んでください。

SQ1. あなたが出す宿題は、平均的な生徒にとってだいたい1回何分くらいの量になりますか。

15分	30分	45分	1時間	それ以上
1	2	3	4	5

SQ2. あなたが出す宿題は予習的な内容が多いですか、それとも復習的な内容が多いですか。

- 1. 予習的な内容が多い
- 2. 復習的な内容が多い
- 3. 半々くらい
- 4. その他（具体的に）

SQ3. 宿題としてどのような内容のものを出していますか。1)～6)のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

よく 出す	たまに 出す	あまり 出さない	全く 出さない
----------	-----------	-------------	------------

- 1.) 教科書の問題 1——2——3——4
- 2.) 学校指定の副教材、問題集 1——2——3——4
- 3.) 自作プリント 1——2——3——4
- 4.) 定期試験対策になる内容 1——2——3——4
- 5.) 授業では扱えない調べ学習など 1——2——3——4
- 6.) 高校入試対策になる内容 1——2——3——4

この質問は全員、お答えください。

B. あなたは、受け持ちの生徒に対して家庭での学習時間の指導をしていますか。

- 1. はい
- 2. いいえ

→SQ. Bで、はいと答えた方のみにうかがいます。ふだん何時間程度学習するように指導していますか。

30分	1時間	1時間半	2時間	2時間半	3時間	それ以上
1	2	3	4	5	6	7

C. あなたは生徒に対して、家庭でどのような内容の学習をするように指導していますか。

1)～4)のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

	よく している	まあ している	していない
1.) 教科の基礎・基本に関わる学習	1	2	3
2.) 定期試験のための学習	1	2	3
3.) 高校入試のための学習	1	2	3
4.) 読書や調べる学習など、新学力観に関わる学習	1	2	3

Q 6. あなたは、次のような方法を用いた授業を行っていますか。A～Kのそれぞれについて、当てはまる番号に○をつけてください。

A. 生徒にテーマを選ばせて行う学習（テーマ学習）	1. はい	2. いいえ
B. 生徒に課題やテーマを与えて行う調べ学習	1. はい	2. いいえ
C. 総合的な学習	1. はい	2. いいえ
D. 学校内の体験的方法による学習（体験学習）	1. はい	2. いいえ
E. 学校外の現場・フィールドでの体験的方法による学習	1. はい	2. いいえ
F. 学校外の施設・センター等を利用した学習	1. はい	2. いいえ
G. コンピュータを使った学習	1. はい	2. いいえ
H. ディベート・討論による学習	1. はい	2. いいえ
I. 個別学習	1. はい	2. いいえ
J. チーム・ティーチング	1. はい	2. いいえ
K. 自作プリントを用いての学習	1. はい	2. いいえ

Q 7. 授業を進める時の目安としている生徒についてうかがいます。あなたは、どのくらいの理解度の生徒に標準をおいて授業をすすめていますか。

1. 上位 2. 中の上位 3. 中位 4. 中の下位 5. 下位

Q 8. あなたの学校における通知票の「学習の記録」について、おたずねします。

A. 通知票には、観点別学習状況を取り入れていますか。

1. はい 2. いいえ

→以下のSQ1、SQ2は、Aで、はいと答えた方のみにうかがいます。  
いいえと答えた方はBに進んでください。

SQ1. 観点別評価は絶対評価（一定の目標を基準とし、目標への実現の状況を評価する方法）ですか、相対評価（学級などの集団内において生徒がどういう位置を占めるかを目安にして評価する方法）ですか。

- 1. 相対評価である
- 2. 基本的には相対評価であるが、絶対評価を加味している
- 3. 基本的には絶対評価であるが、相対評価を加味している
- 4. 絶対評価である

**S Q 2. 観点別評価を行う際には、ペーパーテストの結果をどれくらい考慮していますか。**

とても 考慮している	かなり 考慮している	あまり 考慮しない	全く 考慮しない
1	2	3	4

**この質問は全員、お答えください。**

**B. 通知票には、教科ごとに3段階、5段階、10段階などの評定を取り入れていますか。**

1. はい      2. いいえ

→ S Q. B で、はいと答えた方にお聞きします。教科の評定は絶対評価ですか、相対評価ですか。

もっとも当てはまる番号に○をつけてください。

1. 相対評価である
2. 基本的には相対評価であるが、絶対評価を加味している
3. 基本的には絶対評価であるが、相対評価を加味している
4. 絶対評価である

**C. 通知票や指導要録の教科の評定をつける基準として、あなたは以下のものをどれくらい考慮していますか。1)~10) のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。**

とても 考慮している	かなり 考慮している	あまり 考慮しない	全く 考慮しない
1	2	3	4

- 1) 定期試験（ペーパー試験）      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 2) 実技      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 3) 実力試験（校内実力試験など）      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 4) レポート      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 5) 宿題      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 6) ノートの提出      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 7) 授業中の発言回数      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 8) 授業中の態度・勤勉さ      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 9) 授業中の発言の内容      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 10) 素質や全体的印象      1 —— 2 —— 3 —— 4

**D. あなたは、生徒の評価についてどのような考え方持っていますか。1)~10) のそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。**

非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない
-------------	------------	---------------	--------------

- 1) 観点別評価と評定(段階評定)は、一致するとは限らない      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 2) 評定はペーパーテストの結果を大きな目安にすべきである      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 3) 観点別評価はペーパーテストの結果を大きな目安にすべきである      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 4) 生徒一人について観点別に見ることには無理がある      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 5) 観点別評価はある程度主觀に頼らざるを得ない      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 6) 生徒や保護者は観点別評価を望んでいる      1 —— 2 —— 3 —— 4

非常に そう思う	まあ そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない
-------------	------------	---------------	--------------

- 7) 観点別評価は生徒の個性を尊重することになる      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 8) 観点別評価は受験学力とは別の力を評価している      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 9) 普段から観点別評価を意識して記録などを取っている      1 —— 2 —— 3 —— 4
- 10) 通知票をつけるのに十分な時間がない      1 —— 2 —— 3 —— 4

**Q 9. あなたが定期試験の問題を作成するときに、次のことはどの程度当てはまりますか。A~Jのそれぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。**

非常に 当てはまる	まあ 当てはまる	あまり 当てはまらない	全く 当てはまらない
--------------	-------------	----------------	---------------

- A. 教科書から問題を出す      1 —— 2 —— 3 —— 4
- B. 学校で使っている問題集・副教材から問題を出す      1 —— 2 —— 3 —— 4
- C. 学校で使わない問題集・参考書などから問題を出す      1 —— 2 —— 3 —— 4
- D. 授業のノートから問題を出す      1 —— 2 —— 3 —— 4
- E. 市販のテストを参考にしている      1 —— 2 —— 3 —— 4
- F. 全くオリジナルの問題を考える      1 —— 2 —— 3 —— 4
- G. 入試問題に対応した問題を出す      1 —— 2 —— 3 —— 4
- H. 観点別学習状況の各項目に合わせて問題を作成する      1 —— 2 —— 3 —— 4
- I. 論述式の問題を出す      1 —— 2 —— 3 —— 4
- J. テスト問題を練る十分な時間がない      1 —— 2 —— 3 —— 4

**Q 10. あなたは、授業や生徒指導の場面で、どんなことを大切にしていますか。各ペアのなかで、あなたが、あえていえば重視していると思うほうの番号に○をつけてください。**

- A. 1. 全教科の学力をバランスよく身につけさせること  
2. 偏りがあっても、特定の教科の学力を伸ばすこと
- B. 1. 教科書や指導要領の内容を、とにかく最後まで扱うこと  
2. 一通り終わりまでやれなくても、基本的な考え方を身につけさせること
- C. 1. たとえ小さなことでも、生活の乱れを発見し、つみ取ること  
2. 少少の逸脱には目をつぶり、大きな問題行動を押さええること
- D. 1. 不得意な教科や領域の学力をつけさせること  
2. 得意な教科や領域の学力を伸ばすこと
- E. 1. 自発的に学習する意欲や習慣を身につけさせること  
2. たとえ強制しても、とにかく学習させること
- F. 1. 教育内容を精選して教授すること  
2. 幅広い知識を教授すること

- G. 1. 客観的な基準を使って、生徒を公平に評価すること  
2. 直感的であっても、生徒の個性を重視して評価すること
- H. 1. 若者の風俗、流行や文化を尊重した指導すること  
2. 中学生にふさわしい服装や態度、行動をとらせるこ
- I. 1. できれば少しでもレベルの高い高校に入学させること  
2. 子どもの適性や個性にあった高校に入学させること
- J. 1. 授業を中心とした教育  
2. 基本的生活習慣や心の教育
- K. 1. 学校の責任を学校生活に限定して、その範囲で努力すること  
2. 家庭や校外での生活も、できるだけ指導すること
- L. 1. どの子どもにも、できるだけ学力をつけさせること  
2. 勉強が苦手な子どもには、別の能力を伸ばしてやること
- M. 1. 集団の中での協調性を養うこと  
2. 集団から多少はみ出ても、個性的な生徒を育てること
- N. 1. 学問的に重要なことがらよりも、生徒が楽しく学べる授業にすること  
2. 授業の楽しさを多少犠牲にしても、学問的に重要なことがらを押さえること
- O. 1. 受験に役立つ力を、学校の授業でも身につけさせること  
2. 受験指導は塾などに任せて、学校では基礎的事項を教えること
- P. 1. 子どもの持っている可能性が開花するのを、支援すること  
2. 一人前の大人になるために必要なことを、教え、訓練すること
- Q 11. あなたの将来展望についておうかがいします。もっとも当てはまる番号に○をつけてください。**
1. できれば、将来管理職になりたい
  2. 管理職にはならず、一教師としてずっと生徒を前にして働きたい
  3. 将来は教師を辞めたいと思っている
  4. 今、真剣に教師を辞めたいと思っている
  5. 特に考えたことはない
  6. 生徒が先生は成り得ないと感じている

- Q 12. 最後にあなたご自身のことについてうかがいます。**
- A. 性別**
1. 女性
  2. 男性
- B. 満年齢**
- |            |           |           |
|------------|-----------|-----------|
| 1. ~25歳    | 2. 26~30歳 | 3. 31~40歳 |
| 4. 41歳~50歳 | 5. 51~60歳 | 6. 61歳以上  |
- C. 教職経験年数**
- |            |           |            |
|------------|-----------|------------|
| 1. ~5年目    | 2. 6~10年目 | 3. 11~20年目 |
| 4. 21~30年目 | 5. 31年目以上 |            |
- D. 担当教科**
- |       |         |          |
|-------|---------|----------|
| 1. 国語 | 2. 社会   | 3. 数学    |
| 4. 理科 | 5. 外国語  | 6. 音楽    |
| 7. 美術 | 8. 保健体育 | 9. 技術・家庭 |
- E. あなたは、何年生の授業をもっと多く担当していますか。**
1. 1年生
  2. 2年生
  3. 3年生
  4. その他
- F. あなたはホームルーム担任をしていますか。**
1. 1年生の担任
  2. 2年生の担任
  3. 3年生の担任
  4. 担任はしていない
- G. あなたが教員免許状を取得したのは、どんな学校ですか。**
1. 短期大学
  2. 教員養成系の四年制大学・学部
  3. 教員養成系以外の国公立四年制大学
  4. 教員養成系以外の私立四年制大学
  5. その他（具体的に）
- H. 現在、結婚しておられますか。**
1. 独身
  2. 結婚していて、子どもがある
  3. 結婚していて、子どもがない
  4. その他

I. あなたが現在勤務しておられる学校の規模（学校全体の学級数）

( ) 学級

J. あなたが現在勤務しておられる学校の所在地は、次のどれにあたりますか。

1. 都県庁所在地
2. その他の市部
3. 郡部

K. 学校は、次のどこにありますか。

1. 岩手県
2. 新潟県
3. 東京都
4. 岡山県
5. 福岡県
6. 熊本県